

所信声明 助産師と薬剤耐性の拡大防止 Midwives and Prevention of Antimicrobial Resistance

背景

薬剤耐性(antimicrobial resistance: AMR)は公衆衛生および、特に妊産婦・新生児の健康に対する深刻かつ増大しつつある脅威である。薬剤耐性とは、微生物(細菌、真菌、ウイルスその他の微生物)に抗微生物薬(例:抗生剤)に対する耐性ができることで、治療・予防が難しくなっていくことを意味する。微生物に薬剤耐性ができると、感染症で死亡する女性や新生児の数が大幅に増えることになる。現在、周産期に重篤な感染症で死亡する女性は毎年3万人、新生児は4万人に上ると推定されている1。

出産の現場での適切な水と衛生(Water, Sanitation and Hygiene: WASH)対策を通じた一次感染予防や^{2,3}、感染の的確な治療、薬剤耐性の拡大防止は、上記死亡者数減少のための鍵である⁴。これらの対策のひとつが、妊産婦と新生児との接触の毎に行う手洗いである。

抗微生物治療の選択肢を可能な限り維持するため、WHO は「薬剤耐性に関するグローバルアクションプラン」を策定した 5 。5 つの戦略目標が掲げられ、助産師協会および助産師が他の医療専門職と協力し、果たすべき役割が示されている。その戦略目標は以下のとおりである。

- 薬剤耐性に対する認知と理解の向上
- サーベイランスと研究を通じた知識の強化

WHO. 2016. Fight antimicrobial resistance: protect mothers and newborns.

http://www.who.int/drugresistance/activities/Women-Deliver-AMR-side-event-Handout-May2016.pdf?ua=1

Gon G, Restrepo-Me´ndez MC, Campbell OMR, Barros AJD, Woodd S, Benova L, et al. Who delivers without water? A multi country analysis of water and sanitation in the childbirth environment. PLoS One 2016; 11: e0160572.

Velleman Y, Mason E, Graham W, Benova L, Chopra M, Campbell OMR, et al. From joint thinking to joint action: a call to action on improving water, sanitation, and hygiene for maternal and newborn health. PLoS Med 2014; 11: e1001771. doi: http://dx.doi.org/10.1371/journal.pmed.1001771

Graham W. et.al. 2016. What are the threats from antimicrobial resistance for maternity units in low- and middle-income countries? Global Health Action 2016, 9: 33381 - http://dx.doi.org/10.3402/gha.v9.33381

bttp://www.who.int/drugresistance/activities/Women-Deliv

- 感染発生率の減少
- 抗微生物薬などの適切な使用
- あらゆる国のニーズを考慮に入れた、持続的な投資確保のための経済的基盤の整備と、 新しい医薬品・診断薬・ワクチン・その他の医学的介入への投資の拡大

所信声明

国際助産師連盟(ICM)は、女性と新生児の健康に対して薬剤耐性がもたらす現実かつ喫緊の脅威を認識する。

ICM は、助産師に対し、出産の現場での感染の予防にあらゆる必要な対策(WASH)を講じることを求める。

ICM は、可能な限り長く抗微生物治療の選択肢を維持するため、助産師が行動をとる必要性を強調し、そのための世界・地域・国レベルでの行動を支援する。

会員団体への推奨

ICM は、会員団体に以下を勧告する。

- 教育・研修・専門能力開発の中核的要素として、出産・新生児・産後のケア現場での WASH と薬剤耐性対策を確立することを訴え、関連するパートナーと協力すること。
- 教育と専門能力開発において、必須要件としての感染予防対策に関する訓練と教育を支援すること。
- 抗微生物薬に関する適切な訓練と教育、そのマーケティング・購入・使用に関して行動 規範を策定すること。
- 健康な微生物叢の形成を助ける、skin-to-skin contact の重要性を周知すること。
- (予防法としての) 抗生物質は、慎重な使用を推進すること。

関連 ICM 文書

ICM 2011 基本文書 ICM 基本的助産業務に必須なコンピテンシー

その他の関連文書

Graham W. et.al. 2016. What are the threats from antimicrobial resistance for maternity units in low- and middle- income countries? *Global Health Action* 2016, 9: 33381 - http://dx.doi.org/10.3402/gha.v9.33381

Gon G. et al. Who delivers without water? A multi country analysis of water and sanitation in the childbirth environment. PLoS One 2016; 11: e0160572.

Velleman Y. et al. From joint thinking to joint action: a call to action on improving water, sanitation, and hygiene for maternal and newborn health. PLoS Med 2014; 11: e1001771. doi: http://dx.doi.org/10.1371/journal.pmed.1001771

WaterAid. 2016. Improving the quality of healthcare to reduce antimicrobial resistance (AMR): A pledge to support the fight against antimicrobial resistance in health care facilities. Available from: www.wateraid.org/amrpledge

WHO. 2016. Fight antimicrobial resistance: protect mothers and newborns. http://www.who.int/drugresistance/activities/Women-Deliver-AMR-side-event-Handout-May2016.pdf?ua=1

WHO. 2015. Global Action Plan on Antimicrobial Resistance. http://www.who.int/antimicrobial-resistance/publications/global-action-plan/en/

WHO. 2014. Antimicrobial Resistance: 2014 Global Report on Surveillance. https://www.cabdirect.org/cabdirect/abstract/20153180149

WHO. 2011. Policy Package to Combat Antimicrobial Resistance. http://www.who.int/antimicrobial-resistance/publications/global-action-plan/en/

2017年トロント国際評議会にて採択

次回の見直し予定:2023年

2017年 公益社団法人日本看護協会、公益社団法人日本助産師会、一般社団法人日本助産学会 訳

ICM発行文書の原文については、ICMが著作権を有します。

日本のICM加盟団体である日本看護協会・日本助産師会・日本助産学会は、ICMの許諾を得て日本語に翻訳しました。

日本語訳の著作権については、原文作成者であるICMと日本看護協会・日本助産師会・日本助産学会に帰属します。

原文の転載引用については、ICMに連絡し使用許諾を得てください。

日本語訳の転載引用については、日本助産師会http://www.midwife.or.jp/に連絡し使用許諾を得てください。